

平成 30 年度森林土木セミナー 森林地帯における流木対策

国内の森林の 4 割を占める人工林は、戦後に植林されたものが多く、大半が大径木からなる林となっています。そのために、森林流域において、豪雨や地震により崩壊、土石流が発生して森林が破壊された場合には、土砂とともに、大径かつ長大な流木が流出しやすい現状にあります。したがって、下流の流木災害を防止するために、森林流域において、流木の発生、流下を制御することが重要な課題となっています。

今回は、流木災害、流木対策に造詣の深い方を講師としてお招きして、流木に関する研究・対策の歴史や現状について学ぶとともに、今後の課題について、意見交換を行います。

森林部門技術士会（担当：森林土木部会）

主催：森林部門技術士会

期日：平成 30 年 6 月 22 日（金）14 時半～17 時

場所：日林協会館 3 階大会議室（東京都千代田区六番町 7）

JR 四ツ谷駅から徒歩 5 分

http://www.jafta.or.jp/contents/gaiyo_chizu/1_list_detail.html

プログラム：

1. 開会 14:30
2. 講演 14:35～16:35
「流木災害と対策」

東京農工大学名誉教授 石川芳治（いしかわ よしはる）

3. 質疑応答・討議 16:35～17:05
4. 閉会 17:05

CPD：森林分野 CPD プログラム認定、参加票発行

講師略歴

石川芳治（いしかわ よしはる）

1975 年京都大学農学部林学科卒業。同年建設省入省。

1981 年カナダ、アルバータ大学大学院に 1 年間留学。

1990 年建設省土木研究所砂防部砂防研究室 室長。

1996 年京都府立大学農学部 助教授。

2003 年東京農工大学農学部 助教授、2005 年教授。

2017 年退職後、東亜グラウト工業(株)技術顧問、現在に至る。

学位：農学博士（京都大学、1990 年）

東京農工大学名誉教授。元公益社団法人砂防学会会長。

流木対策をはじめとして、林野庁の各種委員会の委員長を務める。

